

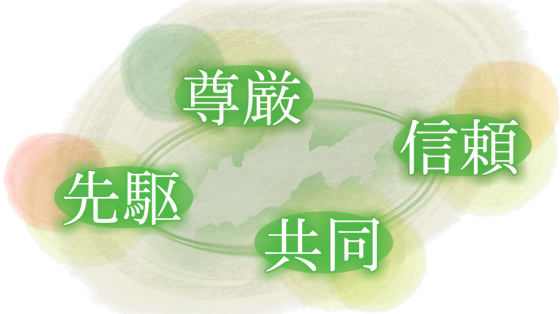


さくらだより

第 65 号
2025年1月1日



京都老人福祉協会の理念



CONTENTS

- 新年ごあいさつ
- 墨染まちとくらしセンター 5周年マルシェ
- うづらこども園 作品展
- 大亀谷まるしえ×ワークパートナーYUI 10周年開催!
- さくらグループ 配食サービスの取り組み
- 編集後記



新年のごあいさつ

社会福祉法人 京都老人福祉協会

理事長 馬場 協一郎



新年、明けましておめでとうございます。
昨年、当法人の運営、事業推進に対して、ご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年の明るいニュースの一つにロサンゼルス・ドジャースの大谷選手の活躍があります。1シーズンでホームラン 50 本、盗塁 50 本を達成する「50-50」の実現、ワールドシリーズ制覇の思いで移籍をして、移籍 1 年目にワールドシリーズ制覇を実現するなど、日本はもちろんアメリカを含めた世界でその偉業が評価されています。世界のトップ選手であっても、毎年モチベーションを維持し高い成果を出し続けることは難しいといわれています。にもかかわらず、大谷選手は高いモチベーションを維持し、成果を出し続けることが出来ているのか。その一つの理由は、目的と目標をしっかりと意識をした生き方があるということを知ったことがあります。目的とは、「数値化してとらえることが出来ない抽象的なもの」目標とは、「数値化してとらえることが出来る具体的なもの」です。一般的な選手は、例えば3割バッターになる、10勝するとか目標を設定してプレーするので、その目標を達成すると燃え尽きてしまいます。ただ大谷選手は、そうした数値化できる目標の先に、「世界一の野球選手になる」という目的をもっていることで、たとえ数値化された目標を達成したとしても、「世界一の野球選手になる」という目的を実現するための新しい目標を設定

して前向きに取り組むことが出来るということでした。そこが一般の選手との大きな違いだと思います。

さて、2024 年度は、介護報酬改定の年でした。報酬改定は、3年に一度の頻度で行われ、その内容は3年間（2024年度～2026年度）の我々、社会福祉事業者にとっての一つの目標が示されたものになります。改定内容の要点としては、(1) 地域包括ケアシステムの推進・深化 (2) 自立支援・重度化防止に向けた対応 (3) 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり (4) 制度の安定性・持続可能性の確保があります。2025年度もまずは、そうした改定内容に示された社会的期待を受け止め、改定項目ごとに数値化された目標を設定し、しっかりと具体的取組をしていくことが必要です。ただ同時に、社会福祉法人として目的（理念）を意識しておくことも重要です。社会の中で生きづらさを抱えている全ての人に支援をおこなうこと、例えば事業所の利用者でなくても、自身の専門領域の対象者でなくても、生きづらさを抱えている人と向き合ったなら、なにか出来ることはないかと考え、行動する。今年もそうした社会福祉法人としての目的（理念）に根差した目標（実践）をしっかりと積み重ねていきたいと考えております。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。



墨染まちとくらしセンター

5周年記念マルシェ



10月12日（土）に墨染まちとくらしセンター5周年記念マルシェを開催しました！

地域に根差したセンターを目指してきましたが、開設後はすぐにコロナ禍になってしまい、思うように地域の方々との交流が持てなかった中で迎えた5周年でした。

そんな不安の中、準備を進めましたが、当日は約300名の方に来場していただくことができました。今回は、そんなマルシェの様子をご紹介します。

屋台コーナー

焼き菓子やフルーツなどの屋台メニュー！そして豚汁や炊き込みご飯などをラインナップしました。たくさんの方にご購入いただき、急遽追加で作りましたという嬉しいハプニングもあり、ほぼすべてのメニューが完売しました。



ゲームコーナー

射的やスーパーボールすくい、ボウリングなど楽しいゲームコーナーを用意しました！

子ども達にも大人気で、とても賑わっていました。看護小規模を利用されている方にも店番をしていただき、温かい多世代交流もみることができました。子ども達と触れ合う利用者様は、いつも



とは違う表情をされており、笑顔や笑い声があふれるブースとなりました。

クラフト体験

空き瓶や保冷剤を利用したハンドメイドで作る芳香剤やコットンボールキャンドルのSDGsクラフト体験。事前に手作りで準備した装飾品を選んでいただき、思い思いの作品を作られていました。ゲームコーナーと同様に子ども達を中心に、楽しい声がたくさん聞こえてきました。



これからも「共生」と「地域」という二つのキーワードを大切に、すべての方の暮らしに寄り添える拠点となることを目指していきます。

地域の皆様に支えられ、無事に5周年を迎えることができましたこと、改めて感謝申し上げます。





うづらこども園 作品展

11月30日にうづらこども園で作品展を行いました。

1年間を通して行なってきた製作を展示し、保護者の方と子どもたち、先生が様々な話をしながら子どもたちの成長を感じてもらいました。

各学年の個性あふれる作品がたくさん並び、同じテーマの作品でも子ども一人ひとり全く異なる作品が見られました。上手く表現できずに手が止まってしまう姿も見られましたが、友達や先生と話しながら製作を進めていくことができました。

園児が製作している様子

- ・子ども一人ひとり楽しみながら製作する姿が見られました。

園児同士の関わり

- ・近くにいる他児と話しながら作品のイメージを膨らませていく姿が見られました。

職員の関わり

- ・うまく表現ができずに困っている子どもには、イメージを膨らませることができるヒントになる声掛けを行いました。
- ・実際に見たものを表現する際は、事前に子どもたちがものに触れる時間をたくさん作り、表現することができるようにします。
- ・子ども一人ひとりが集中して取り組むことができるように少人数ずつ行なったり、一斉に活動を行なったりと製作ごとに変えて取り組んでいます。



くわがた



とうもろこし



とうもろこし立体



どろ恐竜



恐竜



ワークパートナーYUI 10周年を迎えました

ワークパートナー YUI は、令和6年4月1日に、多くの方々に支えられ無事に 10 周年を迎えることができました。これもひとえに利用関係者の皆さま、ご支援、お力添えくださった皆さま、そして、日々苦労が多かった中、笑顔を決やさず尽力してくれた職員による賜物です。心より感謝申し上げます。

この10年間に、ワークパートナー YUI では、就労継続支援 A 型事業、就労継続支援 B 型事業だけでなく、ご利用者が地域で活躍していける機会として「日常生活支援事業」「移動販売くるマルシェ」など地域や事業所のニーズの変化に応じて新たな試みを実施してきました。

ワークパートナー YUI のモットーは、「一人一人の個性を大切にするために自由を尊重する」です。

ご利用者も職員も一人ひとり解釈の違いや価値観の違いでいろいろな意見や考えがありますが、決められたルールの中で自由に「仕事」という形でご利用者にも職員にも自身を発揮してもらえるような事業所をこれからも目指していきたいと思えます。

これまで事業を継続してきた責任ともう一度向き合い、15 周年、20周年を迎えられるよう尽力していきますので変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願いし、10 周年の御礼とご挨拶とさせていただきます。



大亀谷まるしえ×ワークパートナーYUI 10周年を開催しました!

10周年を記念したイベントとして、11月24日に京都老人ホームで「大亀谷まるしえ × ワークパートナー YUI 10周年」を開催しました。

このイベントは「京都老人ホーム全体で、ご利用者やご家族、関係者の皆さまが喜んでもらえるような場をつくりたい!」という各職員の想いで始まりました。

ギリギリまで試行錯誤し、不安でいっぱいでしたが、「全力で楽しもう!」と当日を迎えました。

普段の仕事にはない体験とたくさんの方が喜んでくれている姿をみて職員、利用者にとって本当に思い出深い一日となりました。ありがとうございました!



さくらグループ —配食サービスの取り組み—

きっちんさくらでは、お弁当をご自宅に配達するサービスを行っております。通常のお弁当に加え、ご利用者様に喜んでいただけるような取り組みを行っております。

その取り組みの中で2022年11月から始まった「タイムスリップの旅」ですが、2024年9月で終了いたしました。約2年の期間に、縄文時代から始まり、令和編の東京オリンピックが開催された2020年までを走り抜け、ご利用者様と一緒に食のタイムスリップをすることができました。この取り組みを通して、少しでも楽しんでいただけたのなら幸いです。



明治時代に広まったチョコとあんぱんを融合させた
「チョコあんぱん風おやつ」

タイムスリップの旅とは…

2022年11月から始まった取り組みで、過去にタイムスリップし、その時代に食べ始めた食材や食品などを使用し、その時代に関連したお菓子を提供させていただきました。歴史をさかのぼり、当時のことを知る機会をもったり、思い出してもらいながら懐かしんでいただけるように考えた取り組みです。お菓子と一緒に当時の出来事やアピールポイントを「さくら新聞」と称してお渡しさせていただきました。

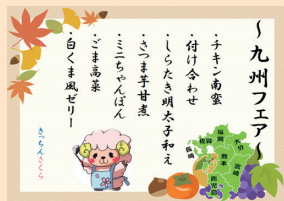


2024年11月より、「グルメフェア ～お家で旅気分を!～」の開催がスタートしました!!!

旅の楽しみといえば、その場所の景色や気候、雰囲気を感じたりとさまざまですが、“食事”という方も多いのではないのでしょうか。旅先で味わう食事は何にも代えがたい魅力ではありますが、なかなか旅行にいけない…

そんな方々に、きっちんさくらから全国や世界の名物グルメをお届けし、お家で旅気分を味わっていただくことこの秋よりグルメフェアを開催しています。

さっそく第1弾として、11月26日に“九州フェア”をお届けしました。宮崎県発祥のチキン南蛮、福岡県発祥の明太子でつくるしらたき明太子和え、長崎県の名物ちゃんぽんなど、各地方になじみのあるメニューを取り揃えました。



第2弾は1月に開催を予定しております。今後も2か月に一度の頻度でグルメフェアの開催を予定しておりますので、是非楽しみにお待ちしております。

配食サービスに関する
お問い合わせ
TEL：075-645-7173
担当：武智（たけち）



編集後記

表紙は大亀谷まるしへのスナップ写真です。大勢の方に足を運んでいただき、とても盛り上がりました。地域との関わりは当法人が大切にしていることですが、実際にイベントを行うことでその大切さを強く実感することができました。本年もこのようなイベントを催しましたら様子をお伝えしたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。 広報委員 奥田